

虐待対応プログラム

BEAMS Stage 1 (WEB)

きこえますか、

令和6年度診療報酬改定で小児かかりつけ診療料の見直しが行われ、届け出要件の「虐待に関する適切な研修」に BEAMS Stage 1 が推奨されました。
日本子ども虐待医学会では、より多くのみなさまにご受講いただけるよう、オンライン（Zoom）で開催しております。

《通常版》

10月20日(火)	19:00~20:30	参加費：2,200円（税込）	講師：川崎 英史（市立岸和田市民病院）
11月24日(火)	19:00~20:30	参加費：2,200円（税込）	講師：守谷 充司（仙台市立病院）
12月 8日(火)	19:00~20:30	参加費：2,200円（税込）	講師：古瀬 優太（札幌市保健所）
1月12日(火)	19:00~20:30	参加費：2,200円（税込）	講師：橋倉 尚美（高槻病院）

《研修医向けBEAMS Stage 1+α》

講義は、用語解説等を丁寧に行ない、通常より長い75分です。虐待に関する用語の解説や、医療機関内での虐待対応の仕組みをより丁寧に行います。研修医向けとしていますが、どなたでもご参加いただけます。

① 10月 5日(月) 19:00~20:45

② 11月 6日(金) 19:00~20:45

③ 12月18日(金) 19:00~20:45

④ 1月26日(火) 19:00~20:45

参加費：2,200円（税込）

講師：米山 法子（米山こどもクリニック）



お申込みは：<https://beams.jamscan.jp/event/>

【お問い合わせ】

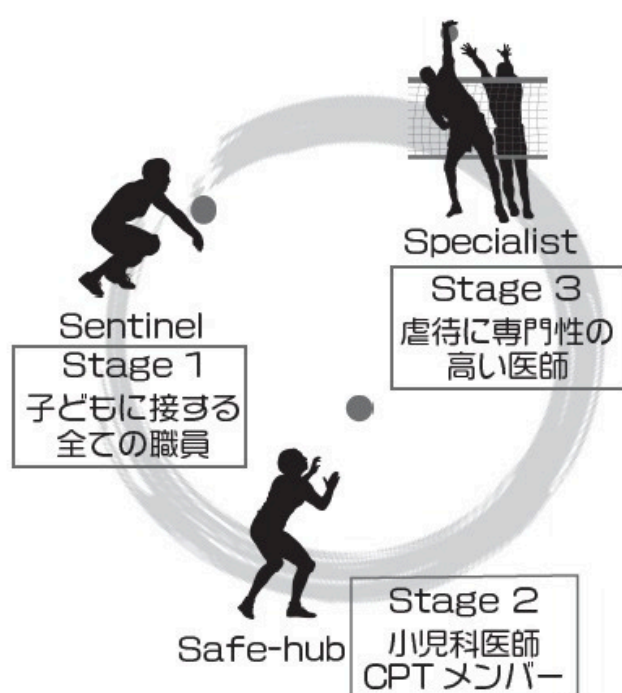
日本子ども虐待医学会

TEL：0463-95-4166 E-mail：info@beams.jamscan.jp



皆で虐待の問題に光を当て
崩れゆく家族を梁のように支え
子どもに心からの笑顔を取り戻してほしい

* beam=光の束、梁、心からの笑顔



Stage 1:

虐待を早期に発見し通告することの意義を理解し、危機管理の視点のみならず育児支援の視点で、Sentinel（見張り番）となる。

Stage 2:

虐待の可能性のある子ども／親との接し方の基本を学び、地域と家族を適切に繋げる（安全の架け橋：Safe-Hubとなる）こと、ならびに急性期に求められる医学的検査・カテゴリー診断ができるようになる。

Stage 3:

専門医師として求められる対応を、ロールプレイなどを通し積極的に理解し、実践的対応能力の向上を目指す。Stage3の修了者は、地域での虐待対応の推進役となることが期待される。

Stage 1 受講者	33,422人
Stage 2 受講者	8,157人
Stage 3 受講者	442人

子ども虐待対応の
共通言語として
全国に広がっています

*2026年5月現在

2つの開催方法

招へい型：医療機関や地域（行政など）から講師派遣を依頼いただく
センター型：日本子ども虐待医学会主催で開催

開催依頼・開催情報や参考資料などはHPへ！
<https://beams.jamscan.jp/>

